

---

# 無限地獄

ユキマコハル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無限地獄

### 【コード】

N8915P

### 【作者名】

ユキマコハル

### 【あらすじ】

ギャンブルに狂ってしまった男が抜けようのない泥沼へと足を踏み入れていく物語

## 序章

今日もやってしまった。

毎日毎日今日で止めよう止めようと思っているのに…朝になればまた同じことの繰り返し…

もうすぐ仕事も無くなるというのにギャンブルに興じる毎日

どうしてもやめれない

俺は頭がおかしくなってしまったのか

給料をもらってからまだ4日だというのに、既に3分の1を競艇ですってしまった。

今日こそ次こそその繰り返しで負けた額を取り返すために次のレースにはより大きな額を突っ込んで…結果ハズレ

このままじゃ生きていくことさえできない。

俺は途方にくれて部屋の外に出た。

今の時代ギャンブルをやるのに別に競艇場や競馬場に直接足を運ぶ必要はない。携帯電話一個とネットパンクの口座さえ持っていれば全国の競艇場競馬場の投票ができる。

全く便利な世の中になったもんである。

同僚に勧められて口座を開きWeb投票権を得てから約半年。

その間に競艇競馬に突っ込んだ額は既に300万を超えている。貯金はとうの昔に無くなった。幸いまだ借金まではしていないが、このままではいつ無人貸付機に走ることやら…

とぼとぼと歩いているとふと銀行が目に入った。

この中には腐るように金が有るんだろうな…

いつそのこと銀行強盗でもやるかな…

俺の脳裏にそんな思いが浮かび上がってきた。

いやいや、いくらなんでもそれは出来ないな。

そこまでやってしまったらそれこそ人生終わってしまう。

俺は頭を振った。

馬鹿な思いを振り払うために。

しかし…来月の給料までどうするかなあ

どう考えても来月まで生きていくことは難しい。給料の前借りはもう駄目だと上司から言われている。そりゃそうだ。3ヶ月連続で前借りしてる。それも殆ど給料をもらってから一週間以内に…

先月なんか上司から蔑むような目で見られた。

困った。本当に困った。自業自得ではあるけれど、さすがに今月はもうヤバイ。

頭の中がぐるぐると渦巻いている状態で、俺はなんとなく銀行の自動ドアをくぐってしまった。

いらっしやいませ

一番近くの窓口の女の子が可愛らしい声で言った。

いやいや、俺は別に何の用事もないんだけど…

迂闊に入ってしまったことを後悔した。

何にも反応を示さない俺を見て不信に思ったのだろう。壁際に立っていた警備員が俺に近づいてきた。

お客様 今日はどういったご用件で？

いや、口座を開こうと思ったんだけど印鑑を忘れてきたのに今気づいてしまった。

もちろん嘘である。

我ながらとっさにつまい言い訳が出たなと思った。

そうですね。ではまたのご来店をお待ちしております。

さすが銀行の警備員である。対応の仕方もちゃんと教育されているようだ。

俺は警備員にうながされて外に出た。

この出会いが後で俺の人生を大きく狂わしてしまうとはこの時にはまだ知る由もなかった。

## 序章（後書き）

つたない文章ですが、寛大な気持ちで受け入れてもらえればありがたいと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8915p/>

---

無限地獄

2011年1月9日00時12分発行